

リウマチ患者の現状

－「リウマチ白書」より－



社団法人日本リウマチ友の会



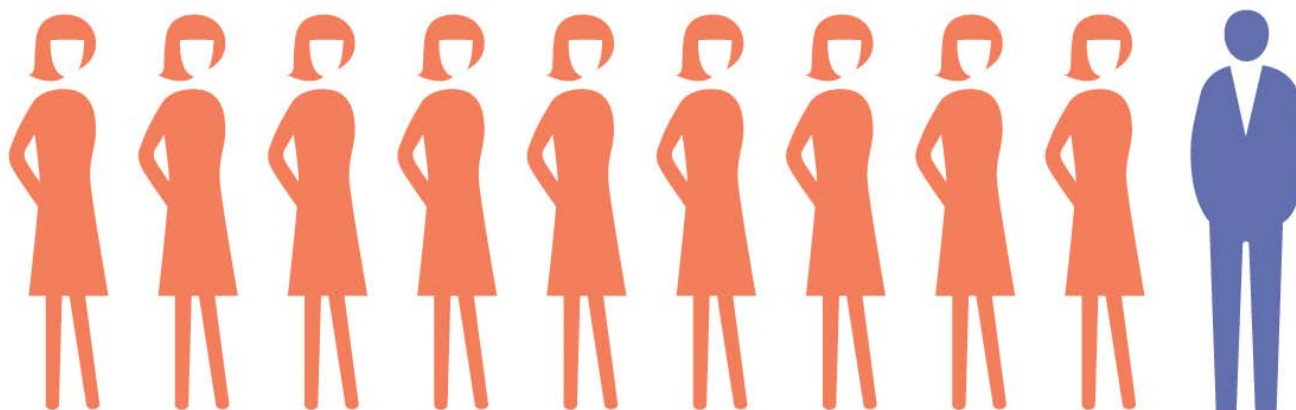
社団法人 日本リウマチ友の会の概要

設 立	1960年 5月設立 1970年 社団法人認可
会の目的	リウマチに関する正しい知識を広め、リウマチ対策の確立と推進を図り、リウマチ性疾患を有する者の福祉の向上に寄与すること。
会 員	約20,000人、10～80歳代 構成：関節リウマチ・悪性関節リウマチ・若年性リウマチなどの患者、家族、リウマチ専門医、医療関係者、ボランティアなど。
活動地域	全国（全国都道府県に47支部）
関係団体	日本リウマチ学会、日本リウマチ財団、日本障害者協議会、障害関係団体連絡協議会、JDA（障害者差別禁止法を実現する全国ネットワーク）、ヘルスケア関連団体ネットワーキング 患者の声を医療政策に反映させるあり方検討会

『2010年リウマチ白書』



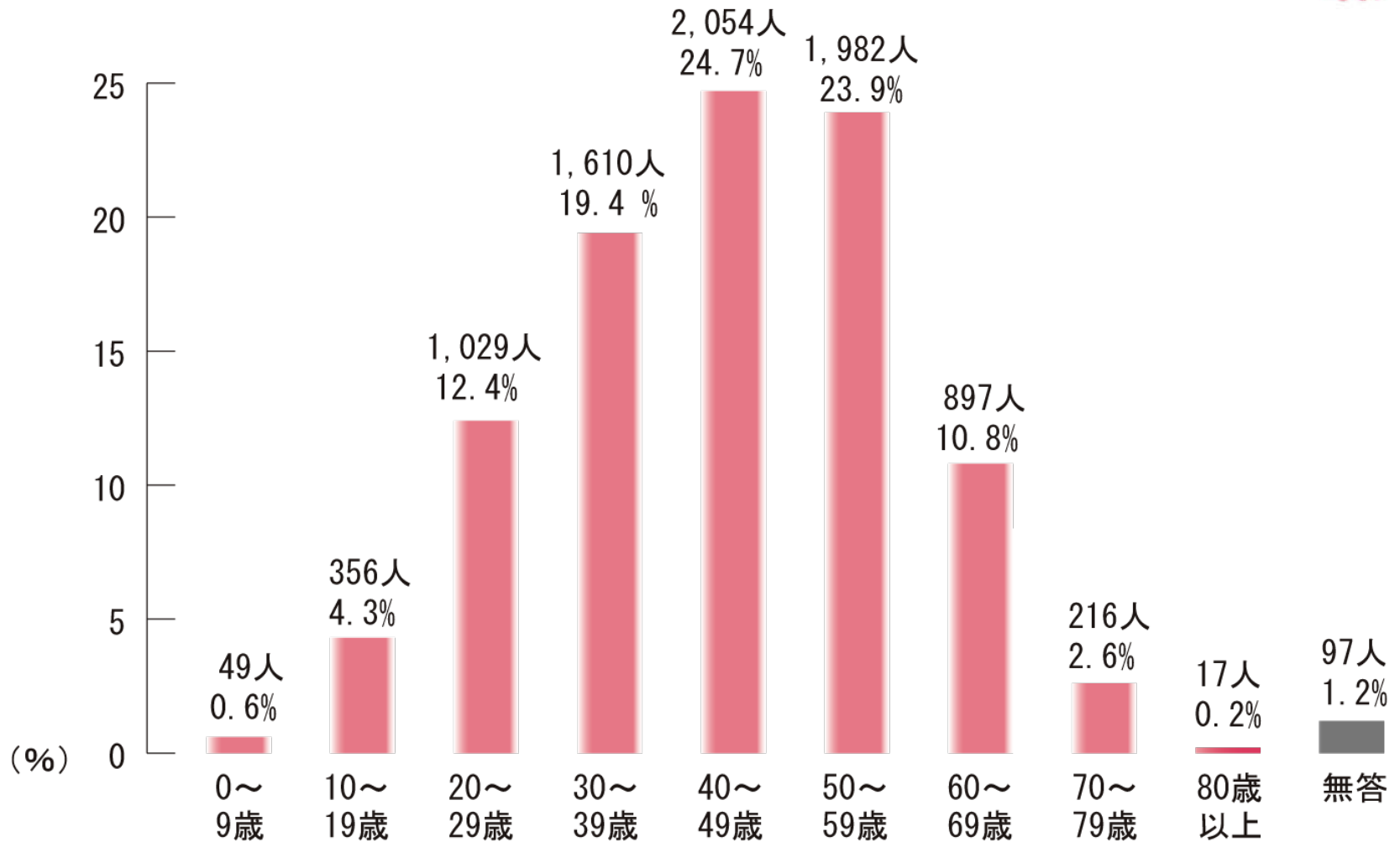
性別



合 計	女 性	男 性	無 答
8,307人 (100.0%)	7,641人 (92.0%)	571人 (6.9%)	95人 (1.1%)



リウマチと診断された年齢





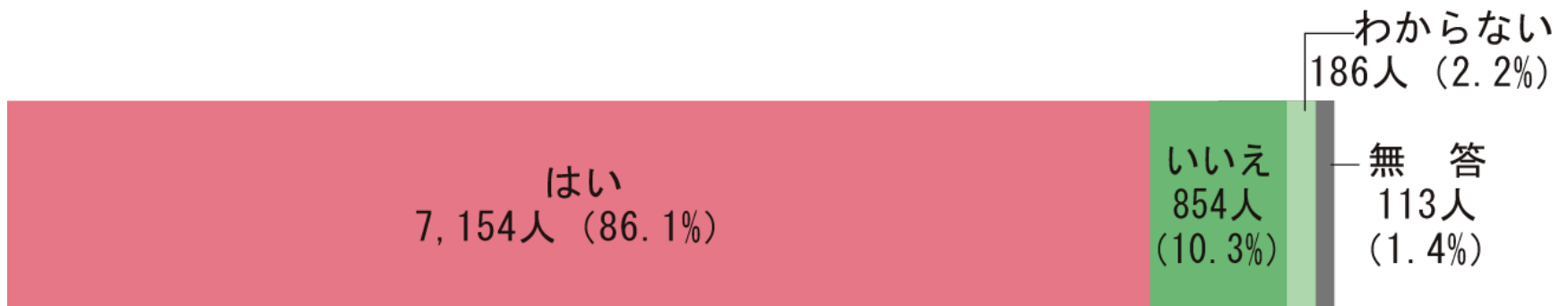
リウマチ治療の4本柱





主治医

主治医はリウマチ専門医

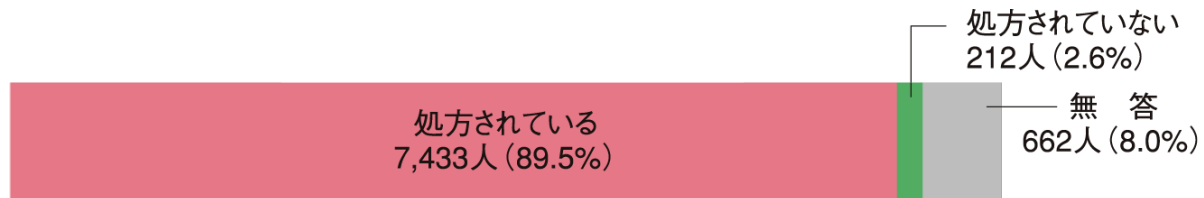


薬

薬の処方と薬の種類数
(リウマチ薬以外もすべて)

2010年

薬の処方

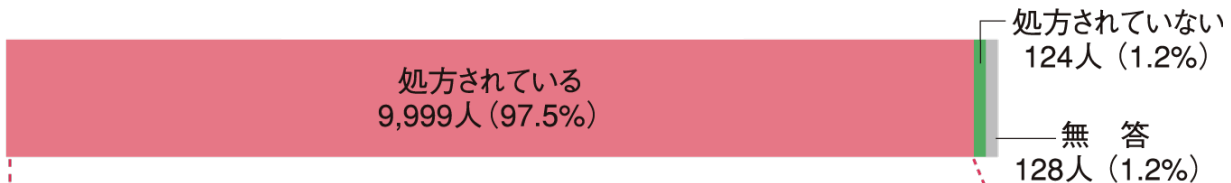


薬の種類数



2005年

薬の処方

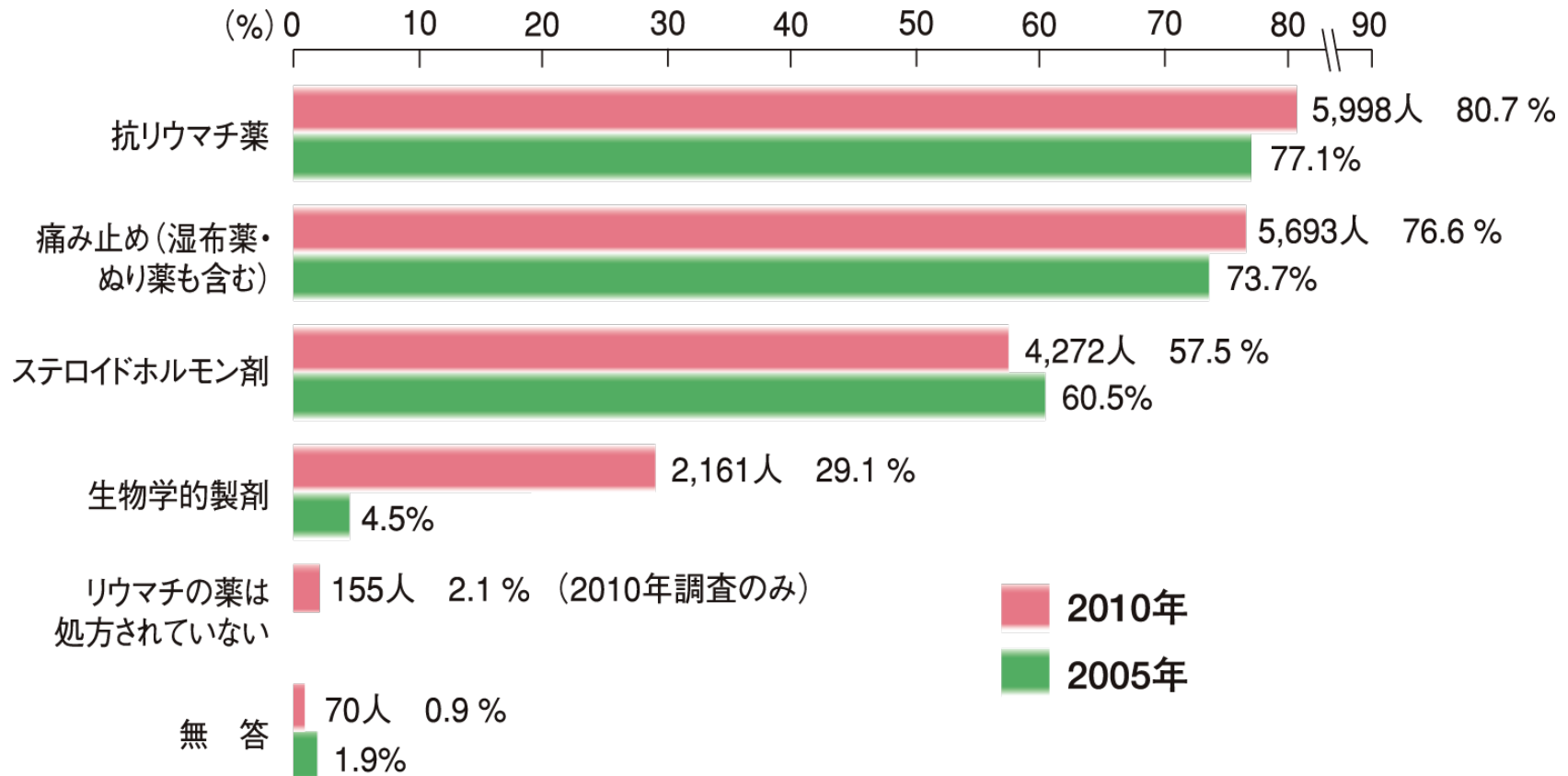


薬の種類数

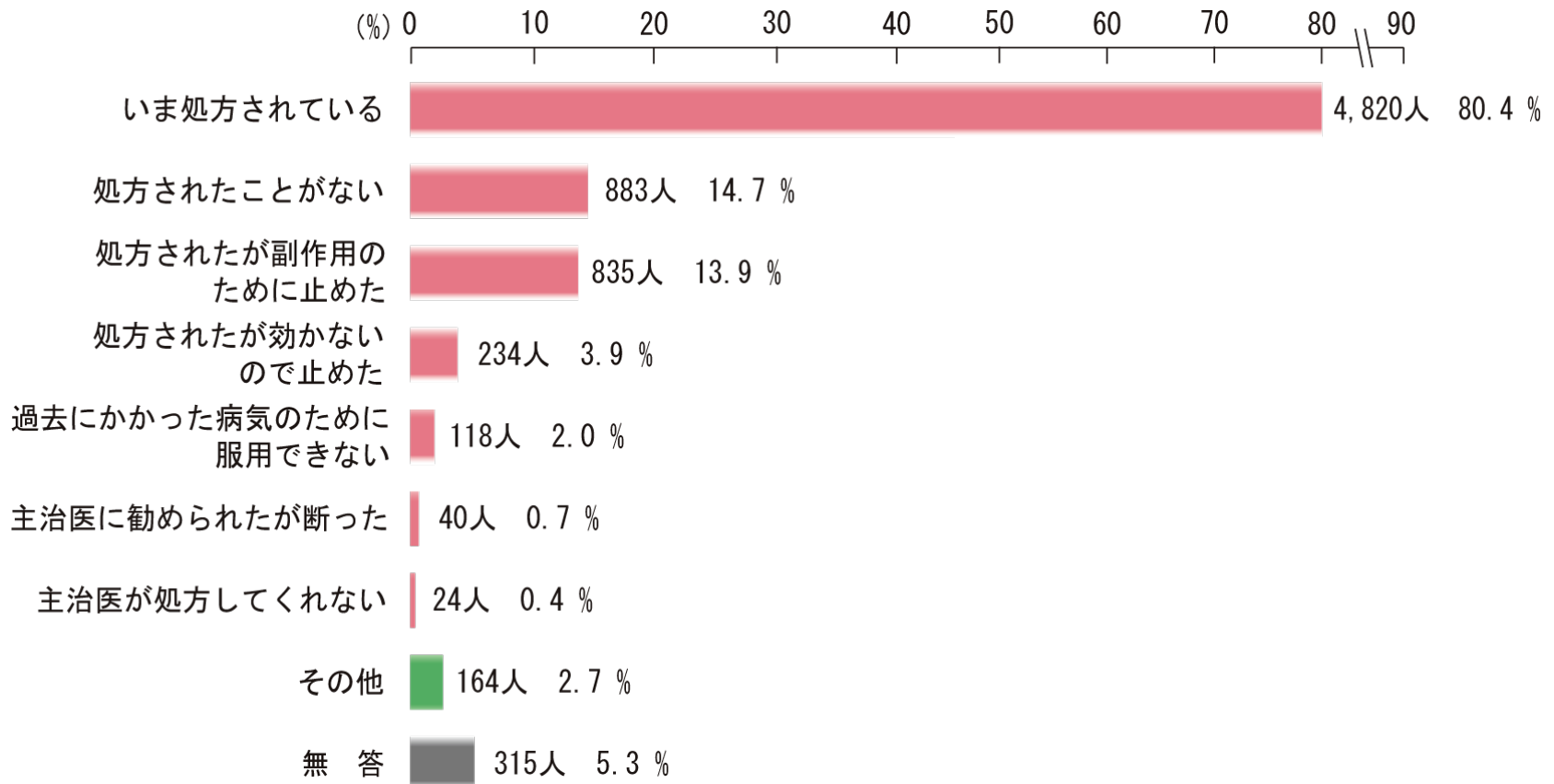




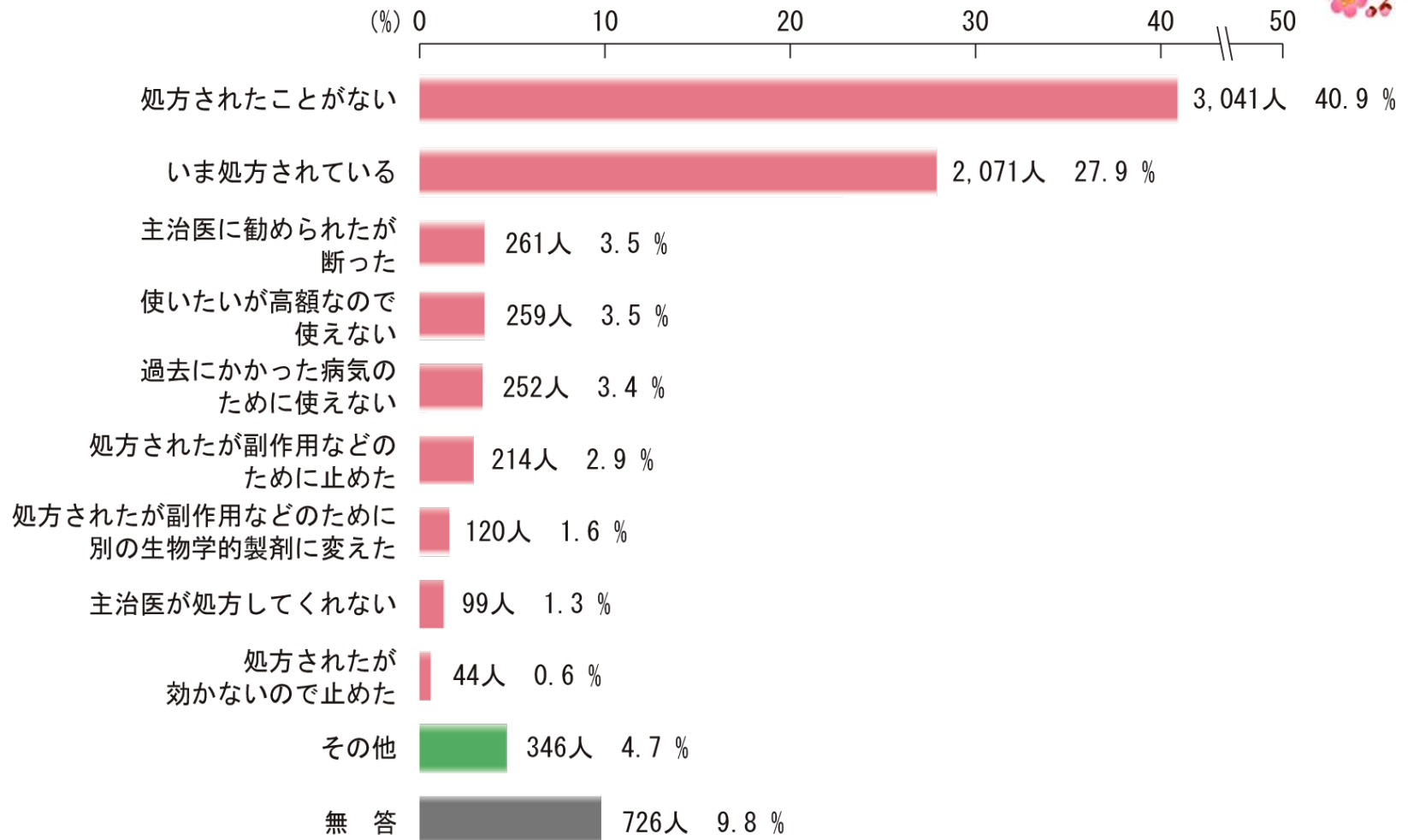
リウマチ治療のために 処方されている薬の種類



メトトレキサート



生物学的製剤



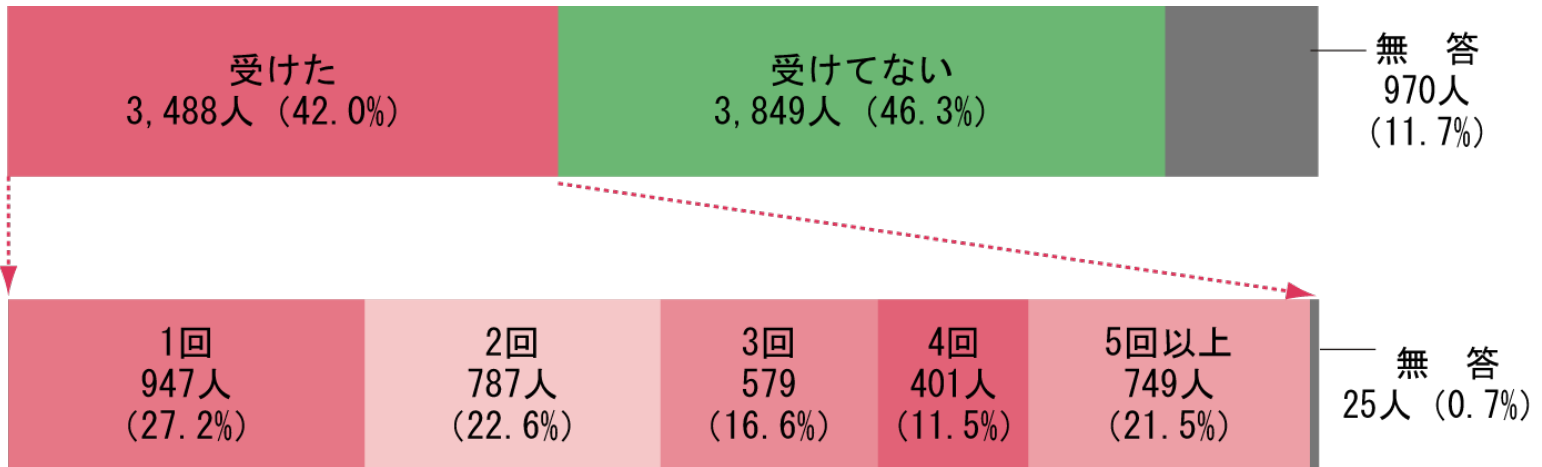
手術



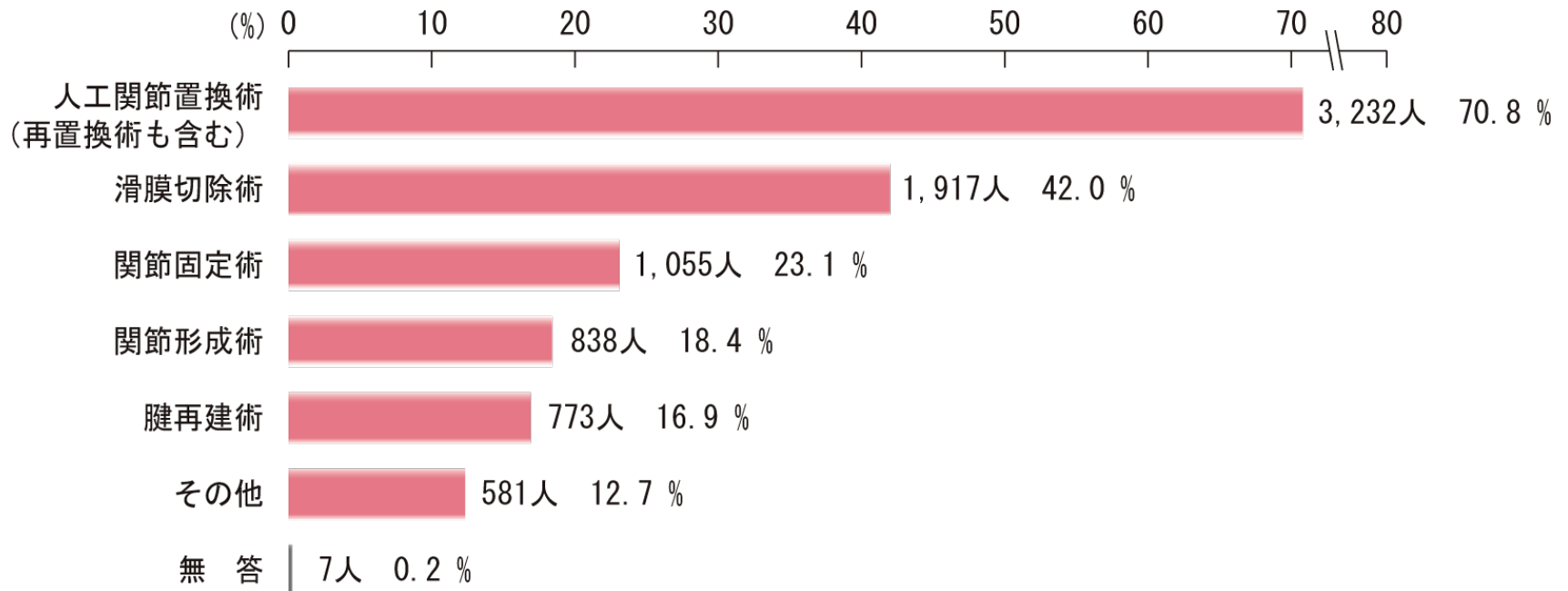
経験

手術の経験者は2005年調査(54.4%)より12.4%減少している。

回数

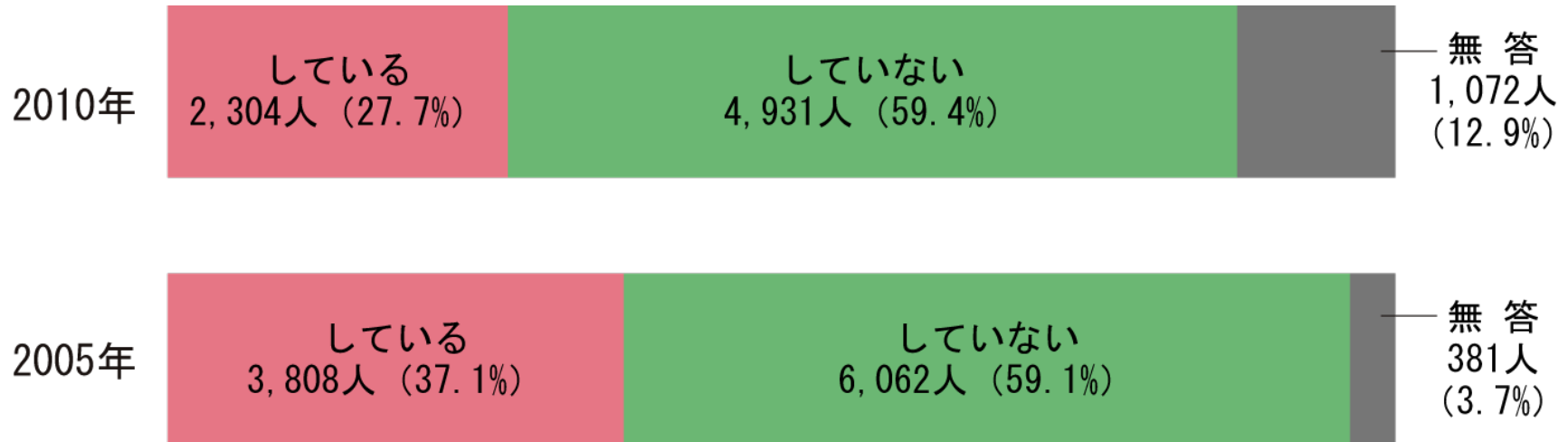


手術の種類



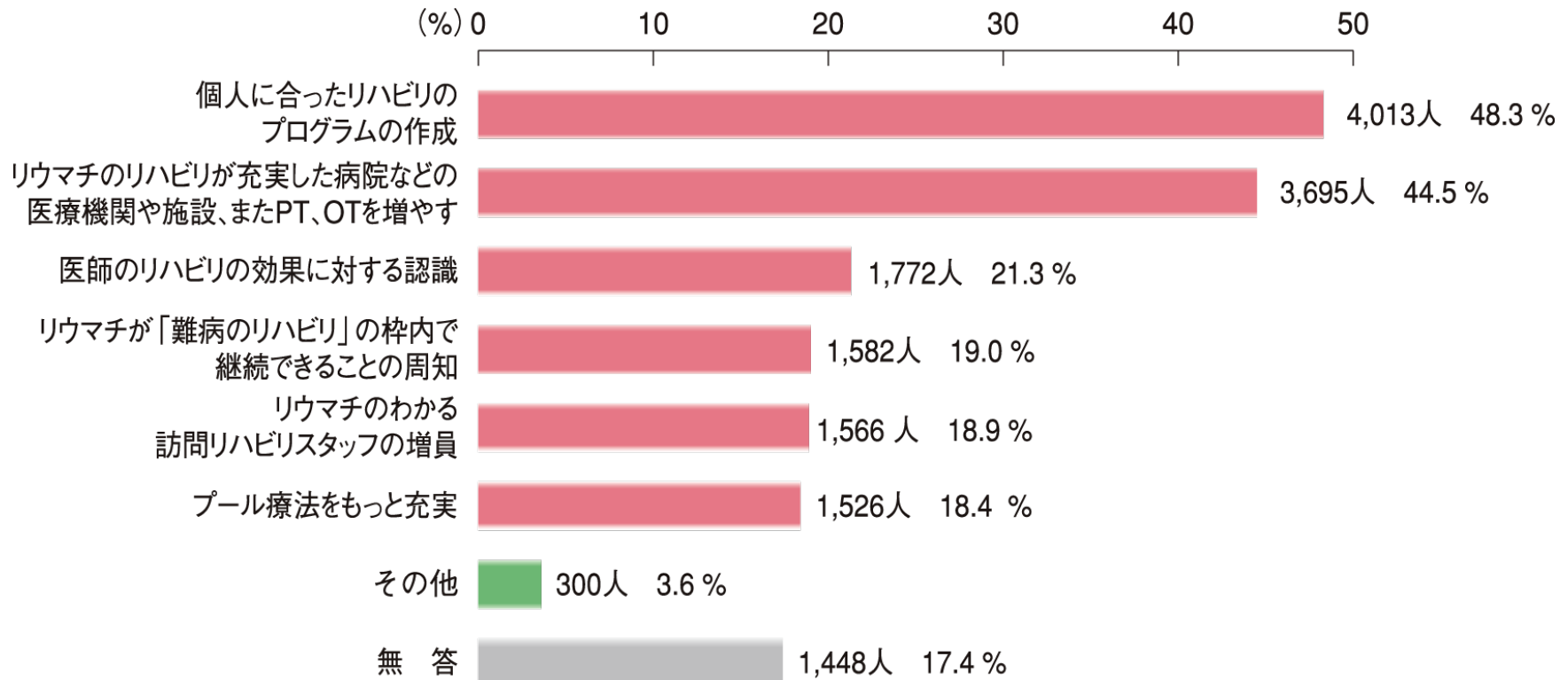


現在のリハビリ状況



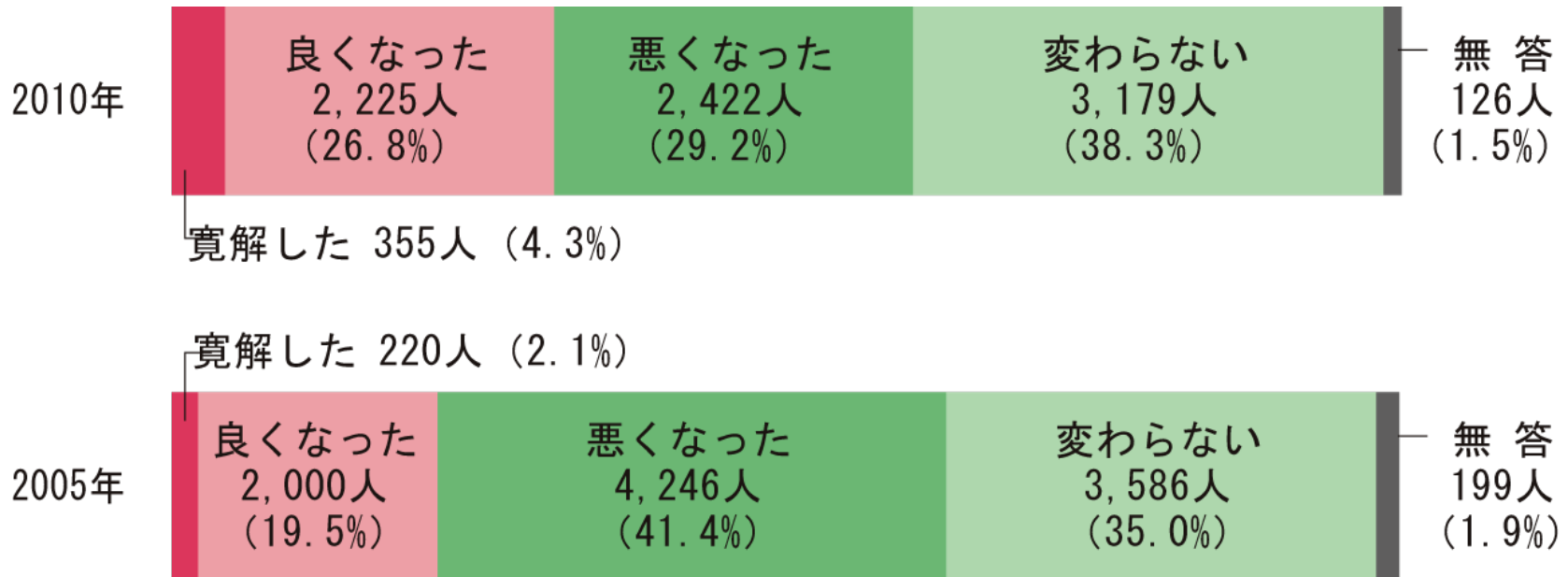


リハビリに望むこと



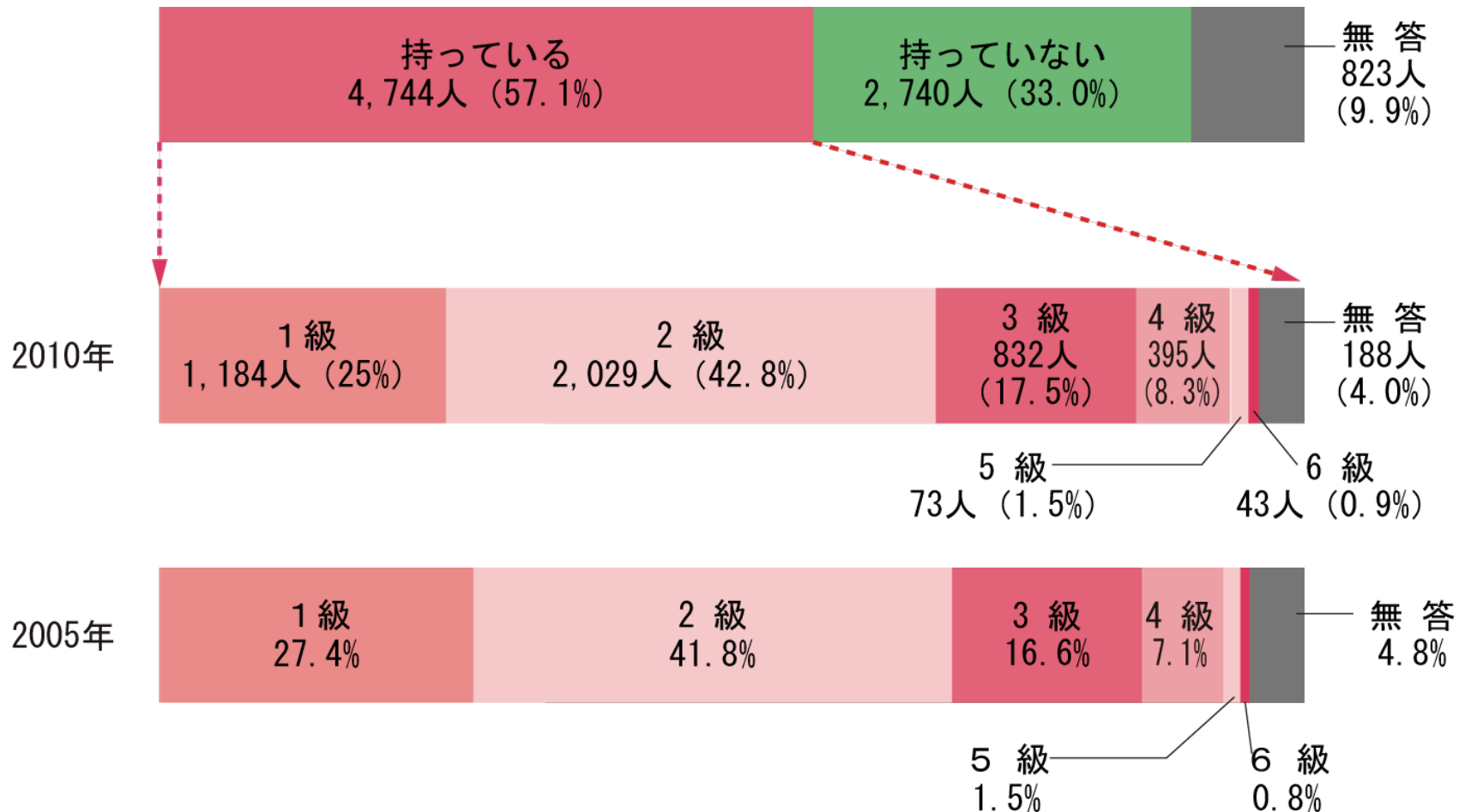


1年前と比較した現在の症状

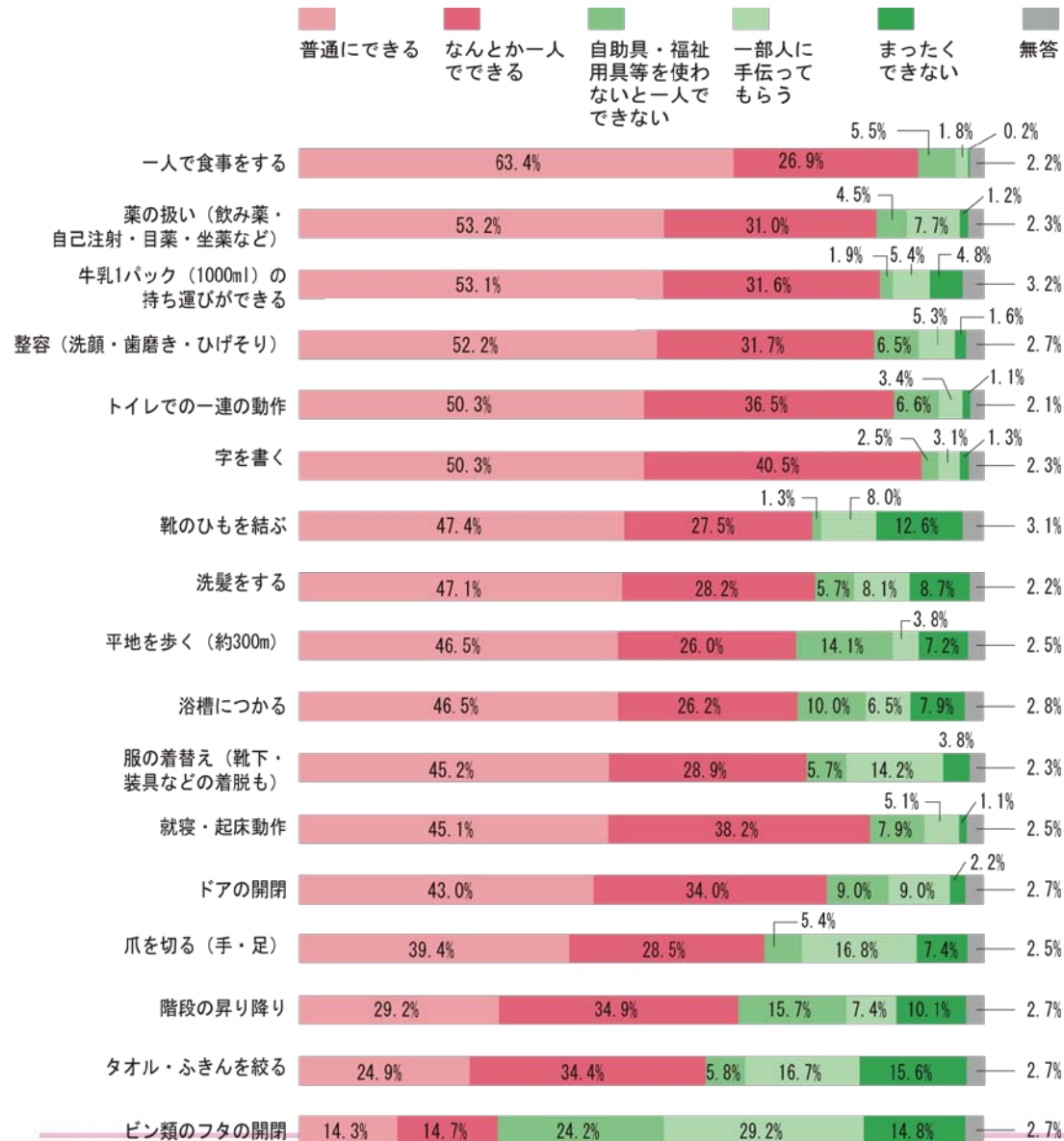




身体障害者手帳（以下身障手帳）



ADL－日常生活動作

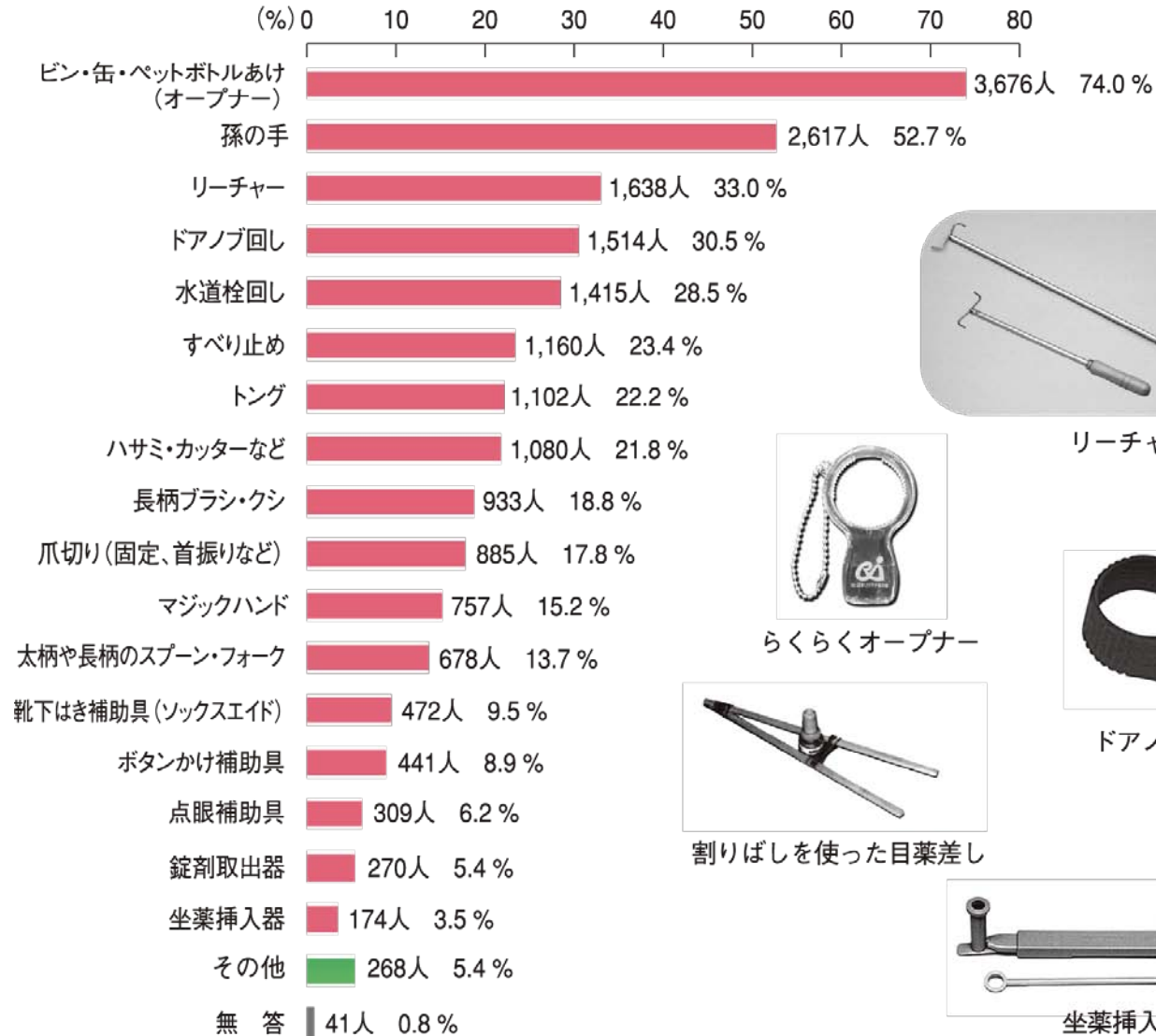




自助具の使用



使っている自助具



リーチャー



らくらくオープナー



ドアノブ回し

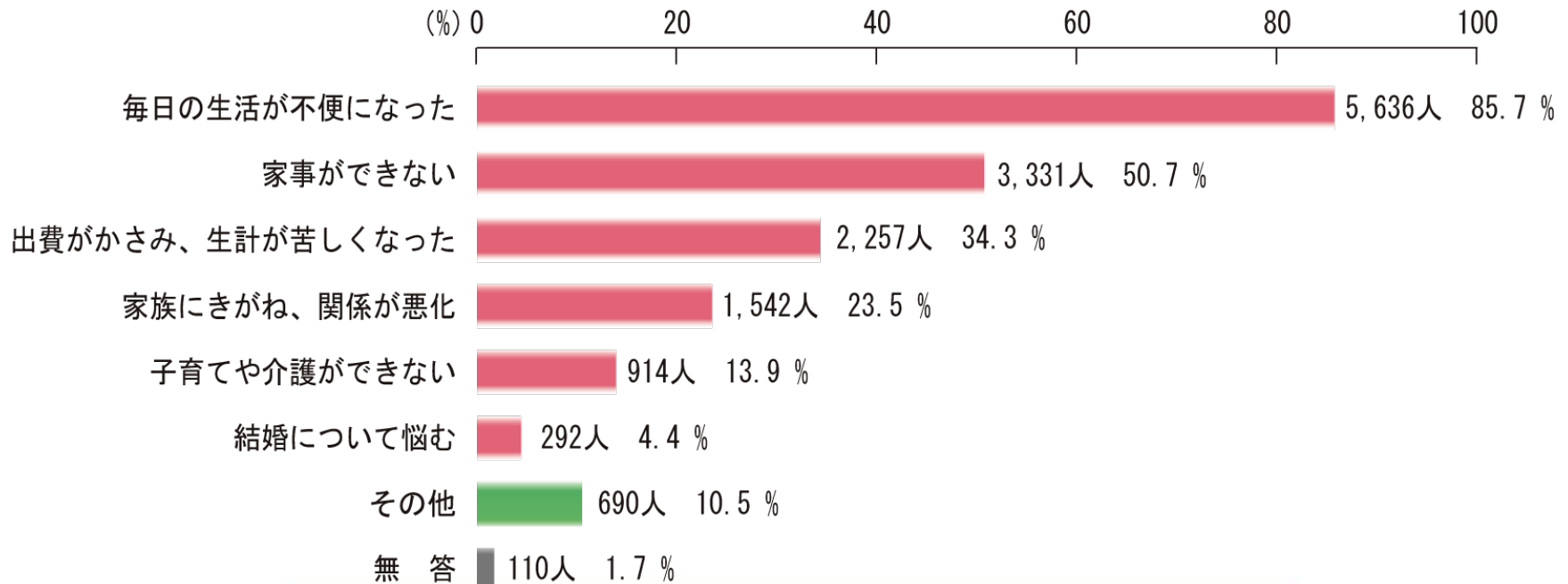
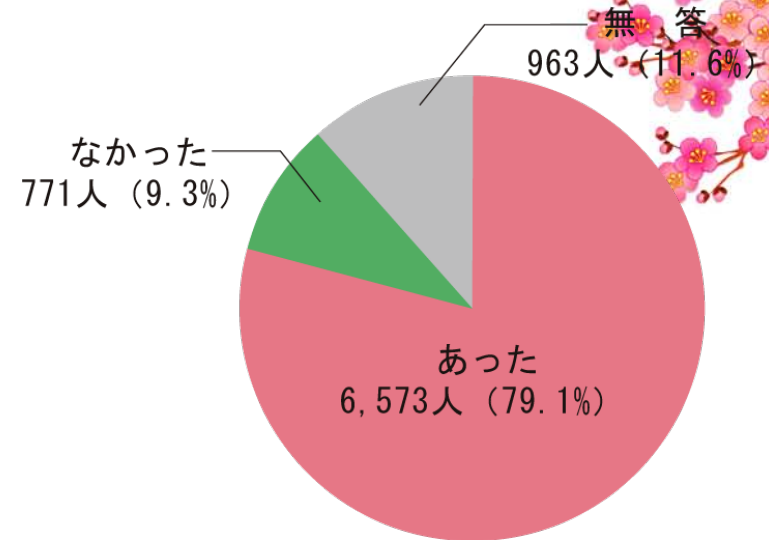


割りばしを使った目薬差し



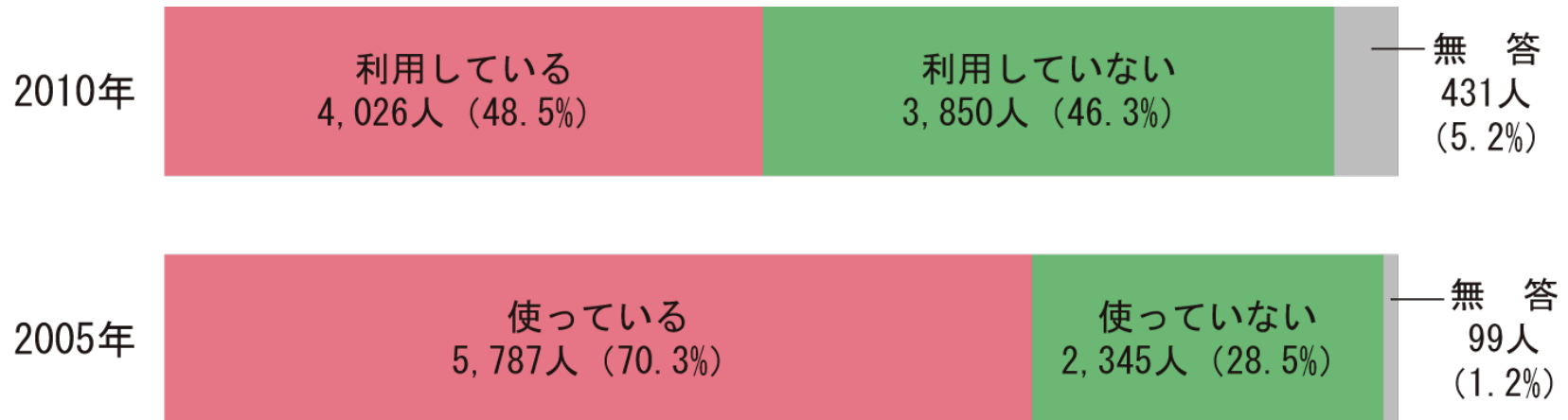
坐薬挿入器

日常生活への影響



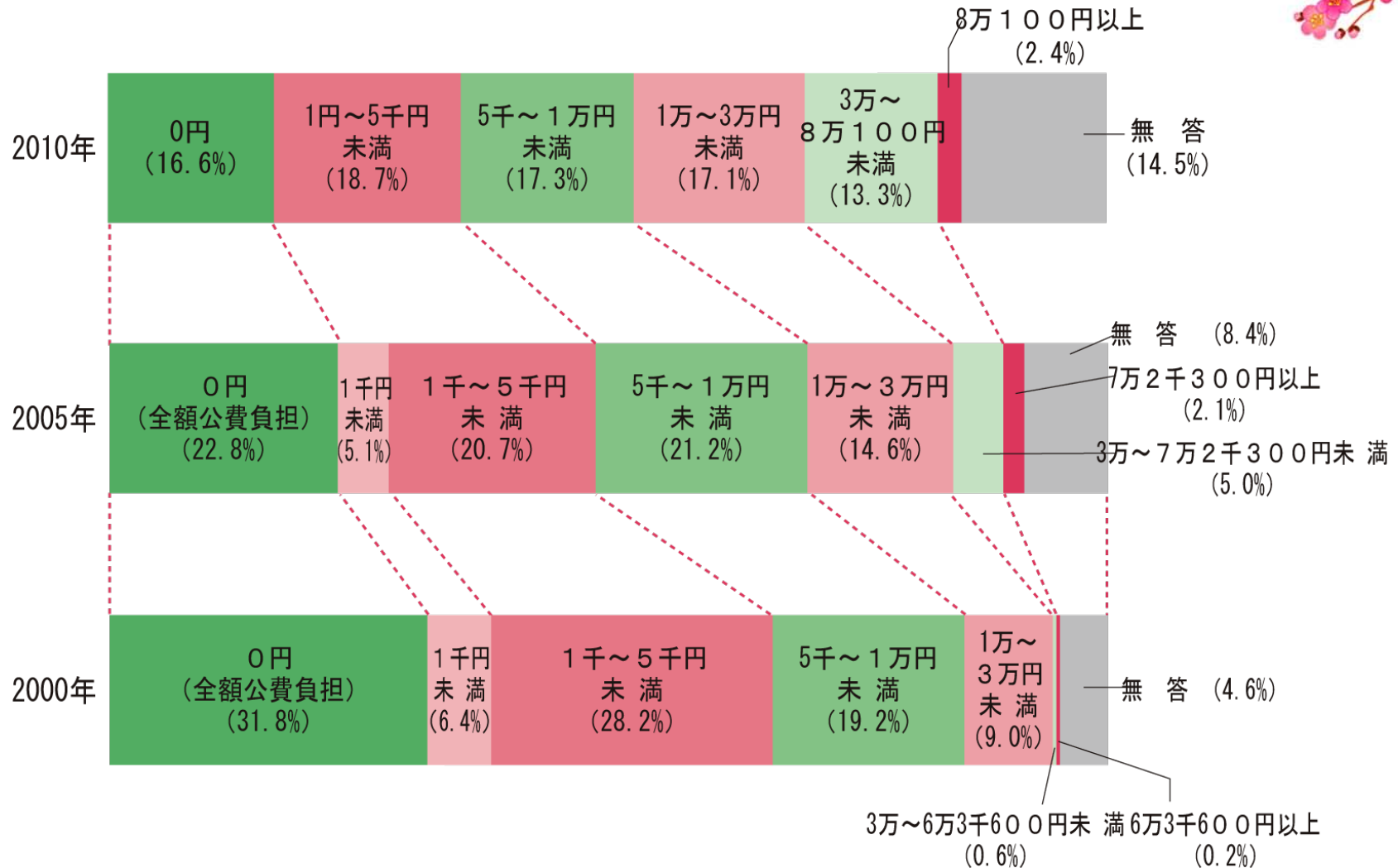


リウマチ治療での 医療費助成制度の利用

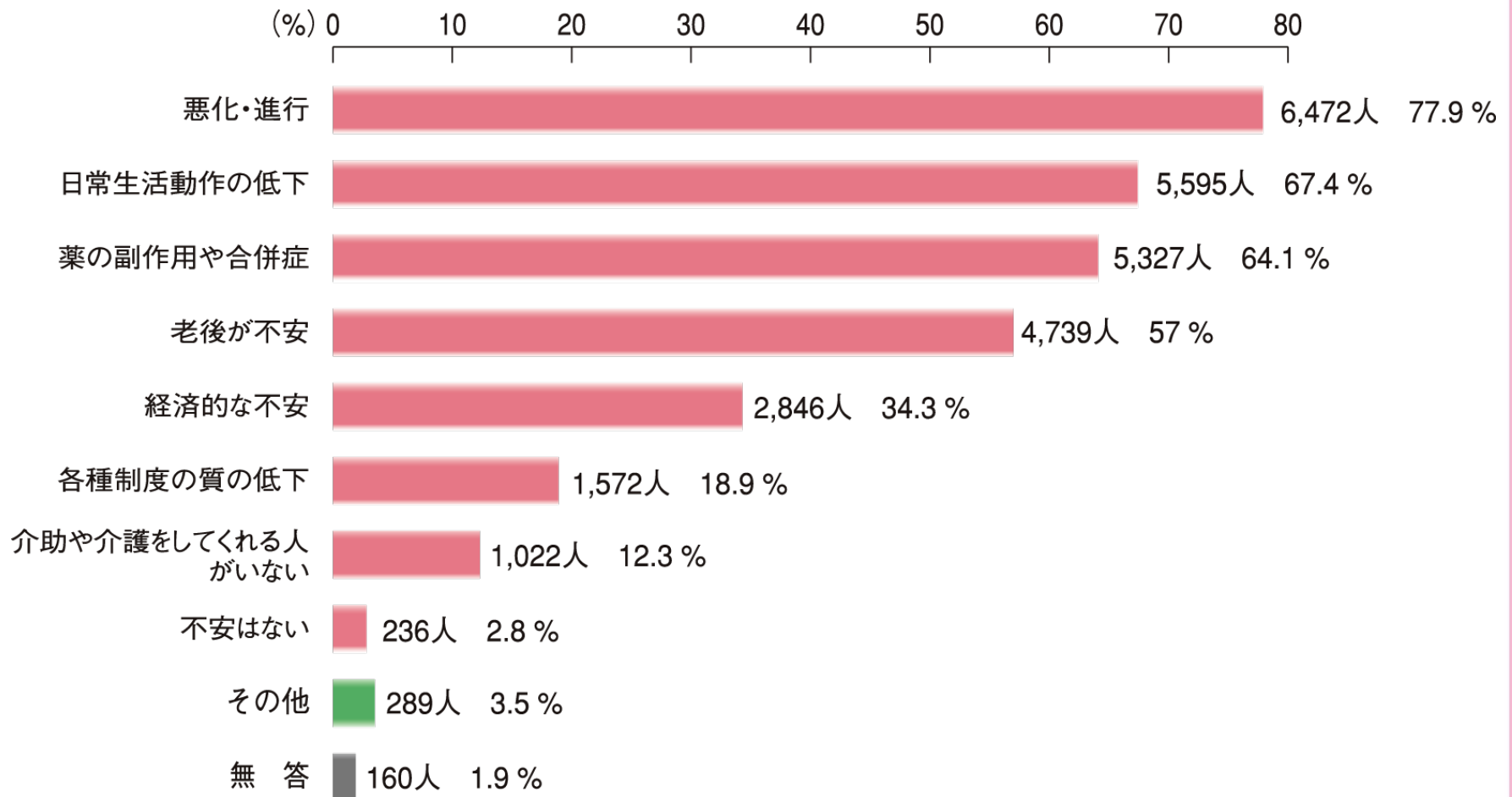




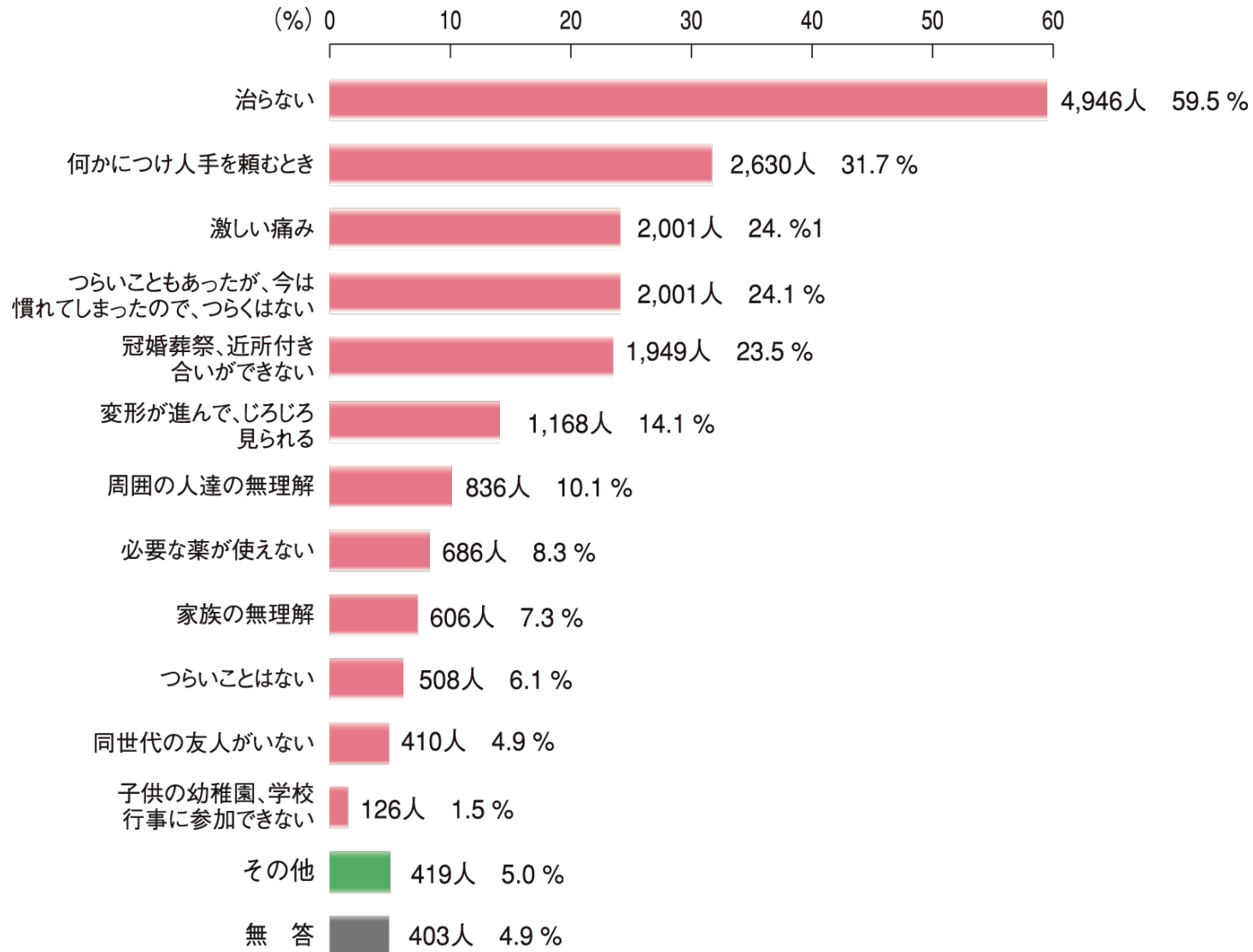
医療費の自己負担（1か月平均）



不安に思うこと

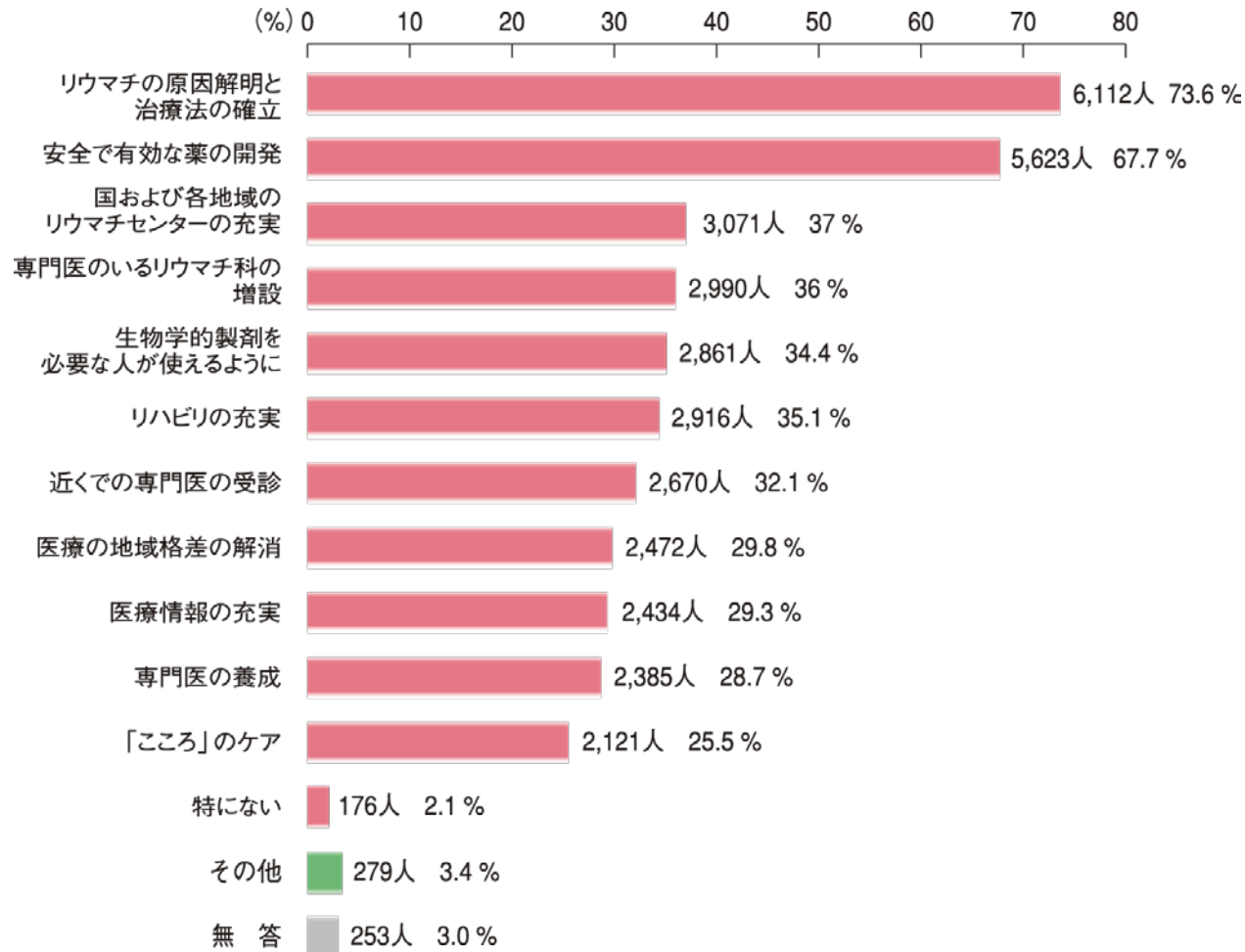


つらいこと

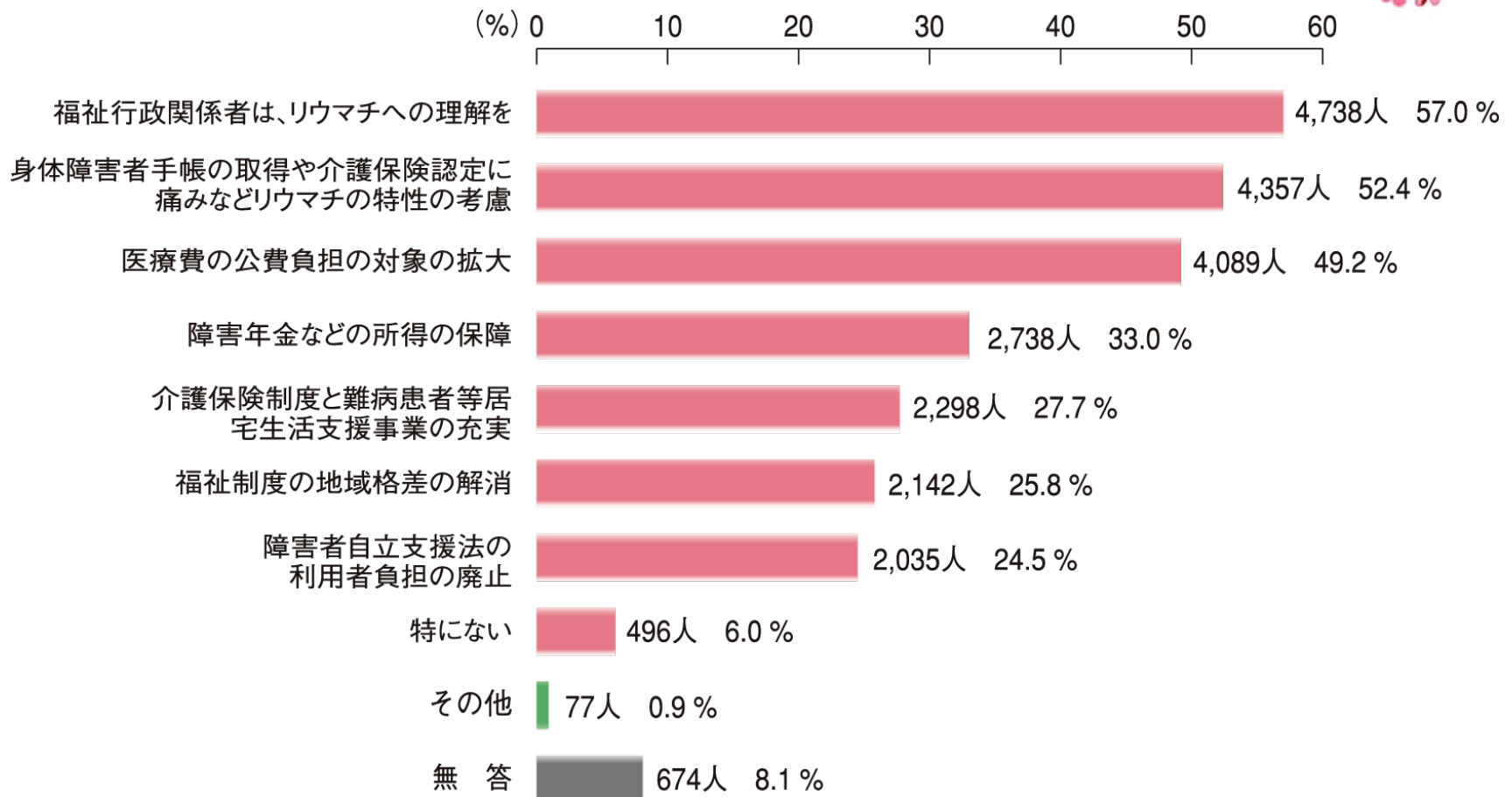


医療への要望

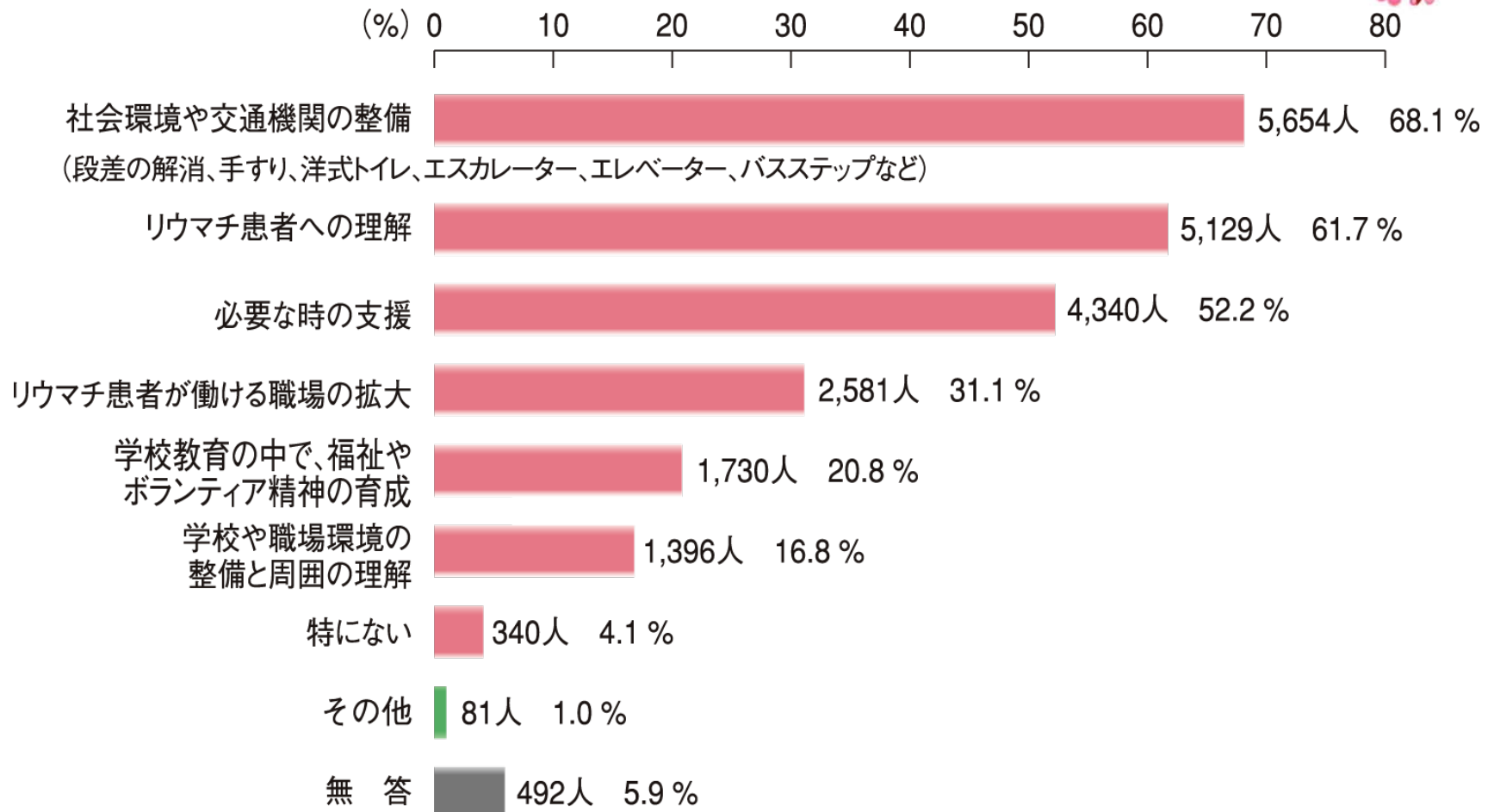
原因解明と治療法の確立を



福祉への要望



社会への要望





大会決議実現に向けて 要望書提出

「生物学的製剤を使用している
リウマチ患者を長期高額疾病患者と認定し、
高額医療費助成の対象としてください」





医療に対する患者の期待

治らない病気



寛 解



治 癒

『2010年リウマチ白書』
リウマチ患者像

